

E2 山陽自動車道 ～今昔物語～



E2 山陽自動車道の概要

広島IC、早島ICの今、昔



- 区間：山陽自動車道（神戸JCT～山口JCT）
 - 延長：461km（広島岩国道路含む）
 - 主な事業経緯
 - ・ 昭和57年 3月：山陽自動車道初めての開通（竜野西IC～備前IC）
 - ・ 平成 9年12月：山陽自動車道 神戸JCT～山口JCT 全線開通（三木小野IC～山陽姫路東IC）
- ↓
- ・ 平成29年12月：山陽自動車道 神戸JCT～山口JCT 全線開通20周年



E2 山陽自動車道 ～今昔物語～



山陽自動車道の利用経緯

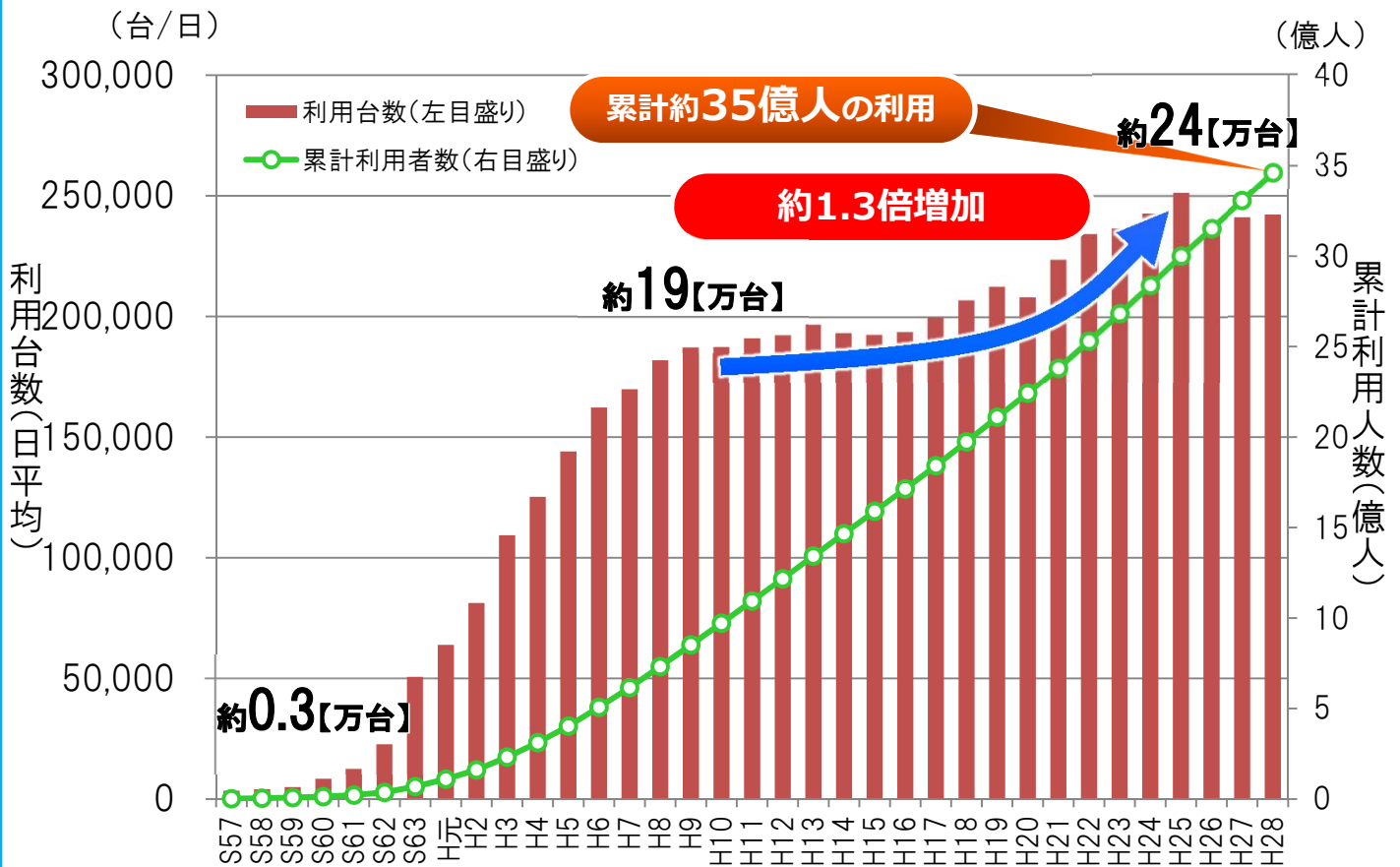
○山陽自動車道 全線開通20周年を迎え…

この20年で利用交通は**約1.3倍**に増加！

1日の利用台数は**約24万台**(平成28年)

最初の開通から**累計で約35億人**が利用！

交通量(台数)と利用人数の推移



出典:NEXCO西日本集計



E2 山陽自動車道 ～今昔物語～

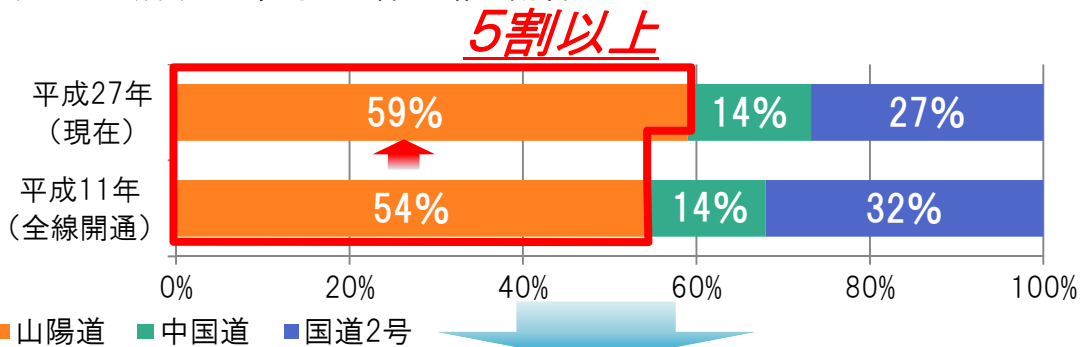


東西交通における山陽自動車道の役割

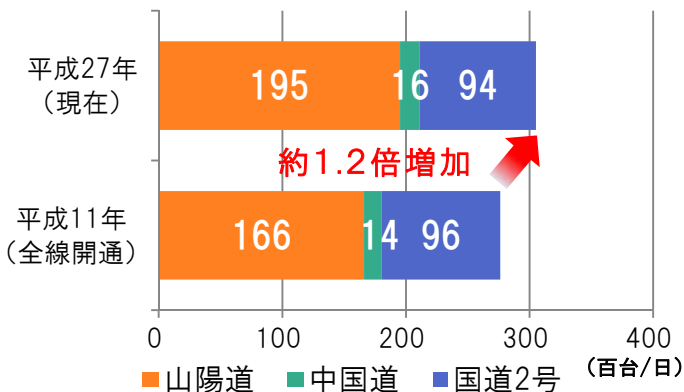
○山陽自動車道全線開通からの20年間、中国地方の各県間を結ぶ自動車交通の**5割以上が山陽自動車道を利用!**
山口県⇄広島県及び岡山県⇄兵庫県の県境における交通量が**約1.2倍**に増加する中、**分担率も増加傾向!**



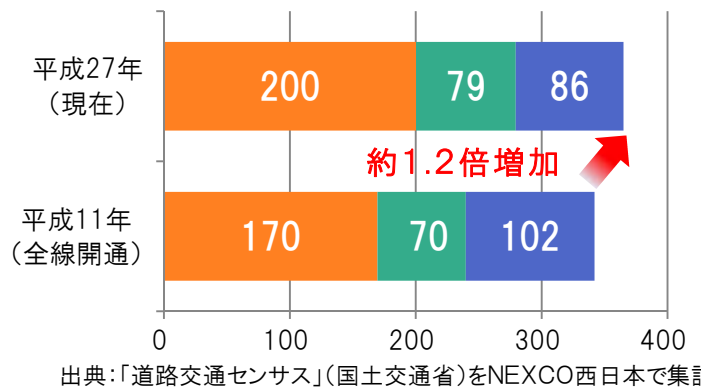
■ 断面A及び断面Bを平均した各道路の割合



■ 山口県・広島県境の断面交通量(断面A)



■ 岡山県・兵庫県境の断面交通量(断面B)



出典:「道路交通センサス」(国土交通省)をNEXCO西日本で集計

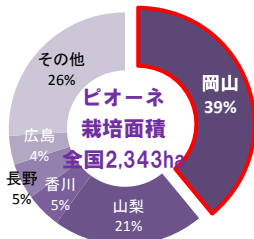


E2 山陽自動車道 ～今昔物語～



九州・中国地方から近畿地方へ農産品の出荷が活性化

○山陽自動車道の全線開通で、西日本で生産した生鮮食品の流通が広域化。近畿地方の主要な卸売市場では、野菜や果物などの**取扱量・シェアが大幅に増加！**



出典:H26特産果樹生産動態等調査



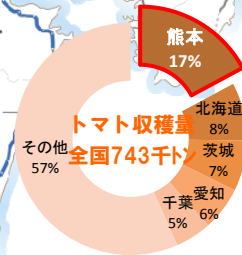
岡山県産
ピオーネ

神戸市中央卸売市場

大阪市中央卸売市場



熊本県産
トマト

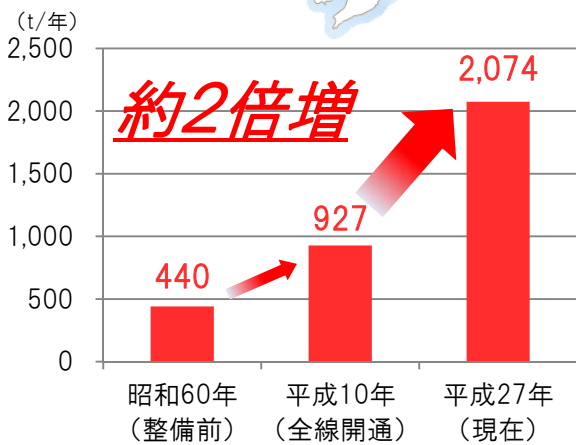


出典:H28農林水産省作況調査

《全農おかやまの声》



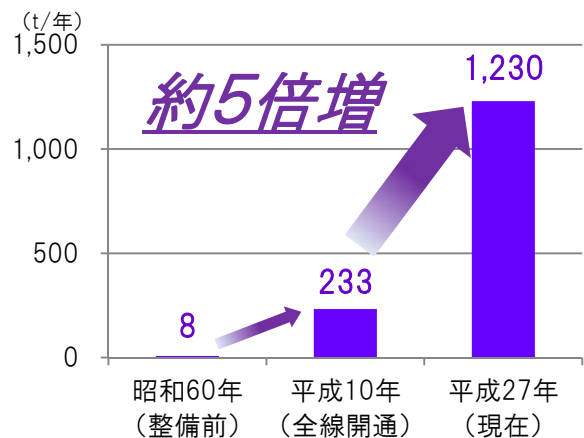
- ・昔は国道2号にて大阪・神戸市場へ出荷していました。
- ・山陽自動車道の開通により、早く・時間通りに市場へ出荷できるようになり、延着による販売機会のロスがなくなりました。



シェア : 9% → 20% → 46%

【熊本県産トマト取扱量】

出典:神戸市中央卸売市場年報



シェア : 5% → 39% → 64%

【岡山県産ピオーネ取扱量】

出典:大阪市中央卸売市場年報



E2 山陽自動車道 ～今昔物語～

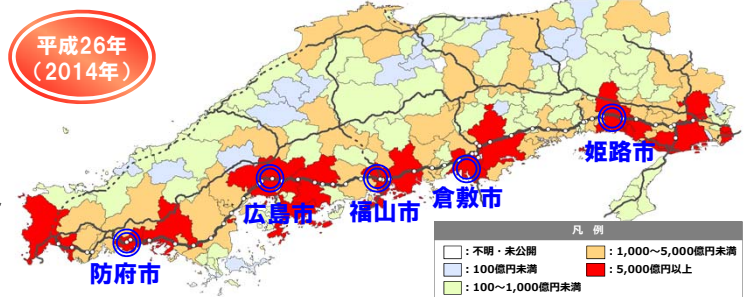


山陽自動車道通過市町村における地域産業が活性化

○この20年で、全国の製造品出荷額はほぼ横ばい。

一方、山陽自動車道の通過市町村では、工場立地の促進等によって製造品出荷額が**約1.3倍**に増加！

■ 中国地方・兵庫県内における製造品出荷額



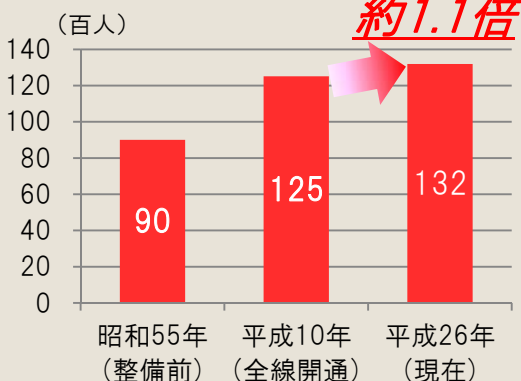
■ 製造品出荷額 増加額(上位5市)

市名	主要産業	増加額	伸び率 (H10→H26)
倉敷市(岡山県)	石油・石炭製品製造業	1兆4,370億円	1.45
広島市(広島県)	輸送用機械器具製造業	7,340億円	1.37
福山市(広島県)	鉄鋼業	6,010億円	1.41
姫路市(兵庫県)	鉄鋼業	4,940億円	1.26
防府市(山口県)	輸送用機械器具製造業	4,390億円	1.66

出典:工業統計表(経済産業省)

参考事例 防府市では、新たな産業団地の造成により工業従事者数が増加

〔防府市における工業従事者集の推移〕



■ 新たな産業団地の造成

2015年8月、防府市における新たな工業団地「防府テクノタウン」の造成工事が完了しました。同工業団地は、山陽自動車道へのアクセス性をセールスポイントとしており、自動車及び付属品の製造企業が進出第1号となっています。



資料:山口県HP「防府テクノタウン概要」



E2 山陽自動車道 ～今昔物語～



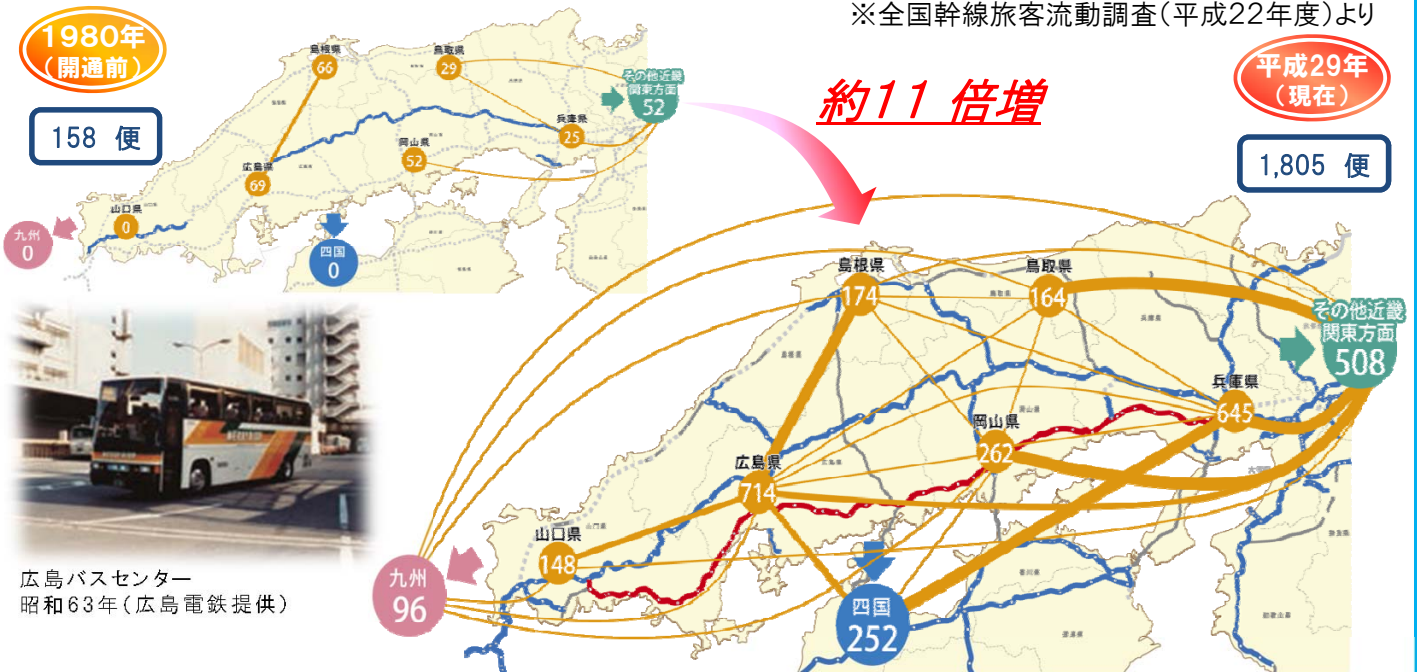
高速バス利便性の向上により広域交流が活性化

○中国地方や兵庫県的高速道路を利用するバスの便数は、
山陽自動車道整備前と比べ**約11倍**に増加！

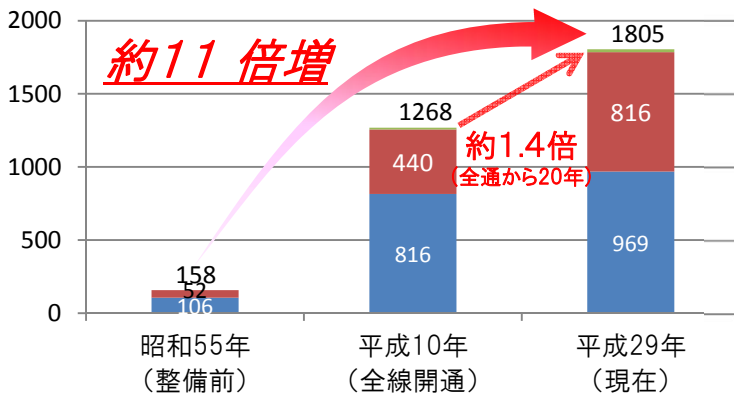
近年では、これらバスの年間利用客は…

約600万人規模※と多くの方々が利用。

※全国幹線旅客流動調査(平成22年度)より



〔高速道路を利用するバス便数〕



広島バスセンター現在

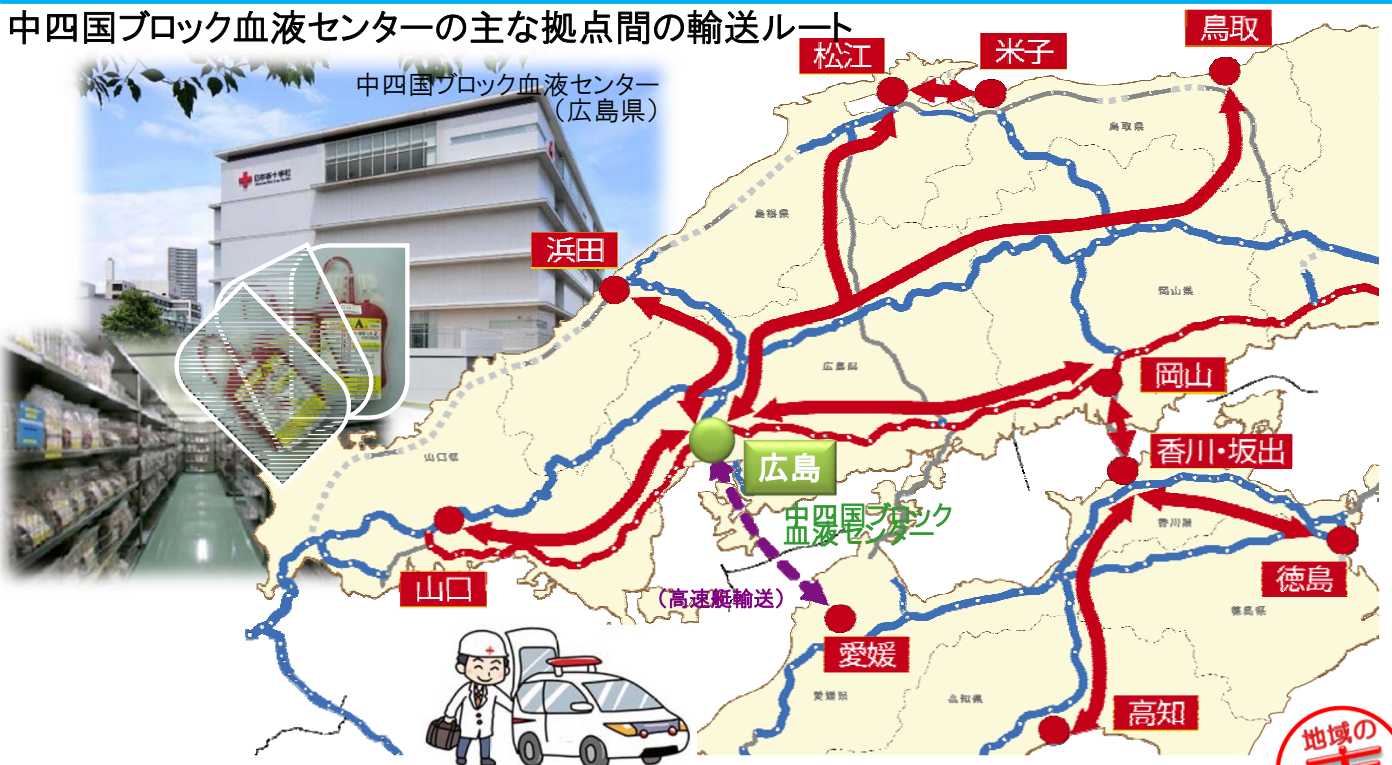
■ 中国5県・兵庫县域内 ■ 中国5県・兵庫県⇄域外
■ 通過(九州⇄大阪以東)

出典: JR時刻表を基に、地域毎の発便数をNEXCO西日本で集計

医療活動への貢献 ～血液製剤の安定供給～

- 中四国ブロックの血液センターでは、平成23年度まで9箇所の各県血液センター毎に血液製剤を個別管理。
現在では広島市の血液センターで一括管理に移行。
高速道路ネットワーク等を利用して11箇所の各県血液センターへ安定的に供給！
年間の輸送回数は延べ約6,200回、輸血用血液製剤約46万本を供給！

中四国ブロック血液センターの主な拠点間の輸送ルート



■中四国ブロック血液センターの声

高速道路が整備される以前は、県毎の血液センターで製造・管理されていたが、血液製剤の有効期限が「4日間」と短く過不足が発生する状況であった。

現在は、血液製剤の検査・製造を中四国ブロック血液センター(広島県)に集約し、高速道路ネットワークを活用することで広域的な事業運営が可能となり、1年間365日を通して医療機関へ安定的に血液製剤を供給している。

